

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 3年 10 月 22 日

設置・運営主体	春日部市		
設置主体	春日部市		
経営主体	春日部市		
事業所名 (施設名)	春日部市立第8保育所	種別	保育所
所在地	〒 344-0046 春日部市上蛭田82番地1		
電話	048 (754) 8349		
FAX	048 (754) 8349		
Email	hoiku08@city.kasukabe.lg.jp		
URL			
施設長氏名	八巻 由香利		
調査対応担当者	八巻 由香利 (所属、職名：春日部市立第8保育所 所長)		
利用定員	60名	開設年	昭和 49 年 4 月 1 日
理念・基本方針	<p>保育理念 一人ひとりの子どもに寄り添い、家庭や地域の人々と協力し合って、豊かな人間性を持った子どもを育成します。</p> <p>保育目標 明るく元気な子 思いやりのある子 自分で考えて行動できる子</p> <p>保育方針 (1) 心身共に健康に、安全で安定して過ごすことのできる環境の中で楽しく活動します。 (2) 地域の人や異年齢・異文化の様々な関わりを通して一緒に遊び楽しさを体験しながら、優しい心を育みます。 (3) 自然や身の回りの様々なものを遊びに取り入れ、物を大切にすることや生命の尊さに気づける経験を重ねていきます。 (4) 「おもしろい」「やってみたい」という気持ちを大切に、意欲的に様々な活動に取り組む中で、自己を十分に発揮する力を育みます。 (5) 言葉への興味や関心を育て、豊かな心・思考力・表現力の基礎を培います。 (6) 一人ひとりを大切に、個性や個人差に考慮した保育を行います。 (7) 地域から信頼される保育所をめざし、積極的に子育て支援を行います。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～土曜日(祝日は除く) 午前7時～午後7時		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	3	1		2
1歳児	8	7	1		2
2歳児	12	10	1		2
3歳児	11	9	} 1 (混合保育)		1
4歳児	11	7			1
5歳児	12	12			1
計	60	48	5	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		14人	
うち	保育士	12人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	人	その他（委託調理員） 2人
非常勤職員数		4人	（常勤換算 人）
うち	保育士	1人	（常勤換算 0.46人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	委託調理員 1人	（常勤換算 人）
	その他（委託用務員）	2人	（常勤換算 人）
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 2人	非常勤： 人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		43.5歳	（43.5歳）
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		16年	（年）
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	0
休日保育		
障害児保育	○	—
一時預かり保育	○	1700円 (食事なし) 2000円 (食事あり)
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業 (病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他 (事業名 :)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 2 年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

5 人

・ボランティアの業務

10月14日 (水) 交通安全教室 (春日部警察署 交通防犯課職員)
児童、職員を対象とした交通安全指導

【実習生の受け入れ】

・令和 2 年度における実習生の受け入れ数 (実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 保育士8 人

看護師5 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	733.88 m ²	
	児童1人あたり	12.2 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	1994.12 m ²	
	児童1人あたり	33.23 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	49年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・朝夕の送迎時にご家庭の様子を伺ったり、保育所での様子を伝えることを大切にしています。コロナ禍の為、所庭を通過してのベランダ送迎ですが短い時間でも個々に対応できるよう心掛けています。職員は笑顔や声色を意識して保護者とのコミュニケーションを大切にするよう定期的に声掛けし合っています。

・保護者からいただいたご意見に関しては、伝えていただいたことに感謝するとともに、保護者の気持ちを受け止め改善を検討しています。ご意見以外の内容でもいつでもお話を聞きますという姿勢を心掛けています。

・保育所のしおり(重要事項説明書)に苦情窓口設置についての案内を掲載し年度初めの懇談会でも周知しています。

・コロナ禍において、保護者全員対象の懇談会は実施しませんが、11月に希望者対象に個別懇談の実施予定です。場所や時間、プライバシーに配慮し保護者の思いを傾聴し、職員にも学びとなる懇談となるよう努めています。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・見通しが良く、全体を見渡せる所庭は少人数の子どもたちにとってのびのびと活動ができる場所となっています。この庭で子どもたちは興味関心を深めながら自分のやりたい遊びを楽しんでいます。桜や銀杏、柿、無花果等、樹木が多く四季折々の風景を楽しむことができます。

・豊春駅から徒歩5分という近い場所に立地されていますので保護者にとっても利便性に優れています。地域の方は遊んでいる子どもたちや職員に声を掛けてくださり挨拶を交わしてくれます。地域から信頼される保育所をめざし、積極的に子育て支援を行うよう心掛けています。

・地域との交流は近隣保育園の年長児との保育交流（昨年度はコロナ禍で中止）や今後は公民館主催の避難訓練への参加、保育所児童の制作物の展示等を行う予定です。

・3歳児以上児クラスは混合クラスとなっていますが、年齢別に計画を作成し保育を実施しています。運動遊びや製作活動など年齢や成長に添った活動を設定し実施しています。混合クラスの良さとしての、異年齢児への思いやりやあこがれの気持ちが芽生えるというメリット両方の良さを引き続き活かしていきたいと思えます。

・保育テーマ「体力づくり」においては4期（1期4～5月脚力・2期6～8月支持力・3期9～12月持久力・4期1～3月空間認知力）に分けて怪我をしないからだづくりを目指し、子どもが主体的に『体を動かすことが楽しい』と思えるような保育となるよう働きかけています。特に昨年からは毎週水曜日に実施している「みんなで体操」の日の体操やマラソン、行進は子どもはもちろん職員も楽しんで行っています。がんばりメダルにシールを貼ったりがんばりパズルを作成し、保護者には掲示やおたよりで伝えています。

・毎月15日にクラスの様子を年齢別に写真掲示で伝えています。月毎に各年齢別に同じテーマの成長がわかるので保護者に好評です。他にも、例年誕生日会に参加していた保護者がコロナ禍であっても自分の子の成長を保育施設でも祝う気持ちを大切に、そして楽しめるようお誕生日会の週から月末にかけては月の誕生児の写真の掲示も行っています。行事参加を楽しみにし、期待をしていた保護者に寄り添えるように、職員一同もドキュメンテーションによるコミュニケーションの向上を心掛けています。保育者同士のスキルアップにも繋がります今年度は力を入れています。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

0 回（平成 年度）